

3 / 16

申告期限

所得税及び復興特別所得税の 確定申告 町・道民税の申告

所得税及び復興特別所得税の還付申告の相談

下記の日程で還付申告の相談を行います。給与や年金から所得税等が源泉徴収されている方は申告により還付されることがあります。

医療費控除などの各種控除のある方は、必要書類などを用意し会場にお越しください。

会場	期間（土曜・日曜・祝日を除く）	受付時間
苫小牧市労働福祉センター （苫小牧市末広町1丁目15番7号）	2月17日（月）～3月16日（月）	9：00～16：00
・日高町役場 税務課 ・日高総合支所 地域住民課	1月17日（金）～3月16日（月）	

所得税及び復興特別所得税の確定申告相談、町・道民税の申告受付

下記の日程で申告の相談・受付を行いますので、必要書類などを用意し会場にお越しください。

会場	期間（土曜・日曜を除く）	受付時間
富川公会堂	2月17日（月）～2月28日（金）	9：00～16：00
日高町役場 厚賀出張所	3月3日（火）～3月5日（木）	
日高町役場本庁 大会議室	2月17日（月）～3月16日（月）	
日高総合支所		

○事業所得等により申告が必要な方で町が把握している場合は、別途日程をご案内します。

○町・道民税の申告は、「所得税等の確定申告」を行った方や職場で年末調整をされた給与収入のみの方は不要です。

●青色申告の方、譲渡所得（株式・土地・家屋等）のある方

青色申告の方及び譲渡所得（株式・土地・家屋等）のある方、その他特殊な申告につきましては、直接下記の申告会場にて受付いただくか、苫小牧税務署へ申告書を提出してください。

申告会場：苫小牧市労働福祉センター（苫小牧市末広町1丁目15番7号）

申告期間中の混雑緩和にご協力ください

例年、申告会場は大変混み合い、長時間お待ちいただく場合があります。還付申告の対象の方については、1月17日から申告相談を受付けています。また、e-Taxの利用や郵送で申告するなど、混雑緩和へのご協力をお願いします。



■申告の際に必要なもの

①	印鑑	⑦	【医療費控除を受ける方】 医療費控除の明細書など ※下記「申告の注意事項」をご確認ください
②	本人名義の口座番号のわかるもの		
③	本人確認（番号及び身元確認）書類 ・マイナンバーカード または ・通知カード及び運転免許証など	⑧	【障害者控除を受ける方】 障害者手帳など障害の程度がわかるもの
		⑨	【寄付金控除を受ける方】 寄付金受領証明書など
④	給与・公的年金の源泉徴収票（原本）	⑩	【新たに住宅借入金等特別控除を受ける方】 ・建物や土地の登記事項証明書 ・取得価格のわかる契約書(写し) ・住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書など
⑤	国民年金・国民健康保険税等の 支払証明書または領収書		
⑥	生命保険料・地震保険料等の控除証明書		

○「確定申告のお知らせ」はがき（または封書）が、送付されている方はお持ちください。

※役場の申告会場で確定申告書を提出された場合などは、税務署より確定申告書用紙に代わり、「確定申告のお知らせ」はがきが送付されています。
確定申告書用紙等が必要な方は役場税務課までご連絡ください。

■申告の注意事項

○医療費控除について

医療費控除の申告をする場合は、「医療費控除の明細書」の添付が必要です。申告の際には事前に医療を受けた人、病院等ごとに計算し、明細書を作成してください。（医療費の領収書は添付不要です。）

また、「医療費通知」（医療費のお知らせなど）を添付することで、「医療費控除の明細書」への記入が省略できます。

○確定申告期における所得税納税証明書等の交付について

確定申告書を提出後、税務署において所得税納税証明書等を交付請求された場合、申告書の処理状況によっては即日交付できない場合があります。早急に納税証明書が必要な方は、確定申告書の提出と同時に納税証明書の交付請求をされるようお願いいたします。

○確定申告書の控えについて

確定申告書の控えに税務署の受付印をもらうことにより、正式な所得の証明書類として利用できます。
確定申告書の控えに税務署の受付印が押されたものが必要な場合は、返信用封筒と切手が必要となりますので、申告相談の際にご持参ください。

○未申告の場合

申告の必要な方が申告をしなかった場合、国民健康保険税の軽減措置が適用されない、高額療養費の自己負担限度額が高くなる、国民年金の免除申請ができない、といった不利益が生じる場合があります。
また、未申告のままでは所得証明書などを発行することはできません。